

広報

心の通う福祉のまちづくり



# さつま町 ふくし

No.29

平成26年4月発行

発行・編集

社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会  
さつま町宮之城屋地2117-1 (宮之城ひまわり館内)

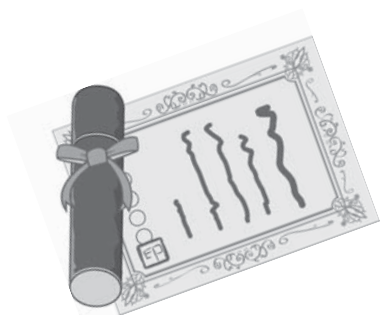
TEL 0996-52-1123  
FAX 0996-52-1148



第9回さつま町民大会での、社会福祉事業功労者への表彰のようす

## 目次

表紙	..... (写真) 第9回さつま町民大会での社会福祉事業功労者表彰のようす
2 P	..... ・第9回さつま町民大会での社会福祉事業功労者表彰者一覧 ..... ・職員の異動、赤十字運動へのご協力をお願い
3 P	..... ・平成26年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
4 P	..... ・平成26年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
5 P	..... ・平成26年度さつま町社会福祉協議会事業一覧
6 P	..... ・平成26年度さつま町社会福祉協議会予算
7 P	..... ・木原孝久先生による、地域福祉に関する講演報告 ..... ・暮らし安心・地域支え合い推進事業実施報告 ..... ・ふれあいいきいきサロンの事例発表
8 P	..... ・児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の表彰 ..... ・鹿児島県グランドゴルフ協会からの寄贈、ボランティア活動保険広告
9 P	..... ・香典返し、篤志寄付、備品借用の紹介
10 P	..... ・町内の施設紹介・・・さつま園、編集後記



氏名 〈敬称略〉	地 区	従事 年数	主な功績の概要
小島 英彦	宮之城屋地	九年	民生委員・児童委員として、要保護者の実情や問題事例などを客観的・総合的に把握し、双方間の調整役として献身的に取り組み、地域福祉の向上に貢献されています。
原田 ちず子	平 川	九年	
黒木 照代	山 崎	九年	
大園 良正	久 富 木	九年	
桑本 久美子	宮之城屋地	九年	特別養護老人ホームアルテンハイム鶴宮園の介護職員として、長きにわたり業務に従事され、利用者の皆さんの処遇向上に貢献されています。
徳留 真由美	紫 尾	十五年	

【第九回さつま町民大会で、社会福祉事業功労者に対しての表彰がありました】 平成二十六年二月十六日（日）宮之城文化センター

【職員の異動】

【退職】（三月三十一日付）

事務局次長 領家 信行

福祉給食サービス

主任 上山 洋子

福祉給食サービス

職員 時吉 君子

【異動】（四月一日付）

総務係長 角井 修

地域福祉係長 柳田 道輝

福祉用具貸与事業所

主任 飯屋原 伸一

老人福祉センター

主任 小下 眞由美

総務係主事 西之園 まさよ

【新規採用】（四月一日付）

福祉活動専門員 小永田 朋浩

福祉給食サービス

主任 武石 次也

【再雇用】（四月一日付）

福祉用具貸与事業所

福祉用具専門相談員 領家 信行

福祉給食サービス

嘱託職員 時吉 君子

【赤十字にご協力をお願いします】

本年も、五月を赤十字運動月間として、赤十字社資の募集をいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。ご協力くださいました赤十字社資は、災害時の救援物資等の支援活動、献血事業、海外協力事業等に広く役立てられます。



救援物資

## 平成26年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 事業一覧

事業名	対象者	内 容	備 考
<b>1 地域福祉事業</b>			
① 暮らし安心・地域 支え合い推進事業	地域住民	在宅で生活される高齢者、障がい者等を地域住民の支え合い活動により、地域全体で支える仕組みを構築する。	
② 支え合いネットワーク 互助事業	高齢者等	地域生活応援員を派遣し、日常生活に困っている方々を支援する。(利用券30分、300円、自己負担)	
③ 高齢者等暮らし安心 ネットワークづくり事業	〃	地域ぐるみで協力して、隣近所が声をかけあい見守っていくしくみづくりを行う。	公民会単位
④ 地区社会福祉協議会 活動支援	地区社協	20地区に社会福祉協議会を設置し、地域住民の自主的・主体的福祉活動を推進する。	
⑤ 自治会・民児協・福祉 関係団体等との連携強化	関係団体	関係機関との連携強化を行う。	
⑥ 地域福祉団体の育成・ 支援	地域福祉団体	地域福祉団体の育成・支援を行う。	
⑦ 宮之城ひまわり館の 管理・運営	地域住民	町からの指定管理者として、宮之城ひまわり館の管理・運営を行う。	
⑧ 鶴田保健センターの 管理・運営	〃	社協鶴田事業所である鶴田保健センターの管理・運営を行う。	
⑨ 生活福祉資金貸付事業	低所得所者 高齢者 障害者世帯等	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	県社協委託
⑩ 法外援護資金貸付事業	〃	生活困窮世帯に対し、各種の資金を貸し付けることにより世帯の更生を支援する。	5万円以内 無利子 償還期限1年
<b>2 高齢者福祉事業</b>			
① 高齢者ふれあい いきいきサロン 事業の推進	高齢者等	お互いの安否確認と相互の元気づけ・仲間づくりで、寝たきり・認知症予防等を行う。	公民会単位 月1回 99ヶ所
② 福祉給食サービス事業	〃	ひとり暮らしや、虚弱な高齢者等に食事を配食し、健康維持と安否確認、声かけを行う。	毎日(昼、夜) 1食450円
③ 老人福祉センター いぬまき荘の管理・運営	地域住民	町からの指定管理者として、老人福祉センター「いぬまき荘」の管理運営を行う。並びに隣接する郷土文化伝習館及びふれあい広場の管理運営も行う。	
④ 在宅介護支援センター の運営	高齢者等	在宅の介護者や、要介護者の介護等の相談に応じ、福祉サービスや、介護保険等のサービスが受けられるよう在宅介護の支援を行う。	
⑤ 男性料理教室	〃	料理教室を開催し、栄養指導・調理実習・交流と親睦を図る。	月1回 宮之城保健センター、 鶴田保健センター
⑥ 敬老事業の推進	〃	地区社協主催の敬老会への支援と、90歳到達者への記念品贈呈を行う。	



事業名	対象者	内 容	備 考
2 高齢者福祉事業			前ページからの続き
⑦ ライフサポート アドバイザー事業	東谷団地	緊急通報システムを整備してある 10世帯の安否確認・緊急対応・相談 等を行う。	
⑧ 紙おむつ支給事業	地域住民	寝たきり等で、紙おむつを使用さ れている方へ支給を行う。	申請時と8月に 支給
⑨ 高齢者クラブ連合会 活動の推進	高齢者等	高齢者クラブ連合会活動の推進を 行う。	
⑩ ときわ木会の支援	〃	高齢者クラブのリーダー研修の支 援等を行う。	
3 障害者（児）福祉事業			
① 相談支援事業	障害者等	相談支援専門員を配置し、障害者 （児）の方々の相談・支援を行う。	町委託
② 計画相談支援事業	〃	相談支援専門員を配置し、障害者 の方々のサービス等利用計画を作成 し、支援を行う。	
③ 障害者（児）団体の 育成・支援	〃	障害者（児）団体の育成・支援を 行う。	
④ 居宅介護事業	〃	障害者（児）の方々に訪問介護員を 派遣し、身体介護や家事援助を行う。	
⑤ 障害児移動支援事業	〃	障害児等に対し、発達支援センター 等への送迎を行い、療育に寄与する。	町委託
⑥ 障害者訪問入浴 サービス事業	身体障害者等	障害者（児）の方々に、自宅にお いて、移動入浴車による入浴サービ スを提供する。	〃
4 児童福祉・母子寡婦福祉活動			
① 福祉教育の推進	児童等	福祉教育の推進と支援を行う。	
② 総合的学習の時間への 協力	児童・生徒	町内各学校へ講師として職員を派 遣し、福祉関係の講義等を行う。	
③ 母子寡婦福祉団体の 育成・支援	母子寡婦団体	母子寡婦福祉団体の育成・支援を行 う。	
5 ボランティアセンター活動事業			
① ボランティアセンター 機能の充実	地域住民	ボランティアセンター機能の充実 を図る。	
② ボランティアコーディネ ーター活動の充実	〃	本所、各事業所にボランティアコー ディネーターを配置し、支援を行う。	
③ ボランティア個人・ 団体の育成、支援	〃	個人ボランティア・団体ボラン ティアの育成、支援を行う。	
④ ボランティア連絡会	〃	意見交換並びに交流研修会を行う。	
⑤ ボランティア協力校の 指定・支援	町内保育園・幼 稚園・小中高校	ボランティア協力校として指定し、 福祉教育の充実を図る。	年1回
⑥ ボランティア養成講座	地域住民	ボランティアの基礎知識を理解す ると同時に、地域でのボランティア 活動のリーダーを養成する。	年3回
⑦ 中高生福祉体験・ ボランティア学習	中・高校生	夏休みを利用し、町内の施設で福 祉体験のボランティア学習を行う。 講演会を開催することにより、町 民の福祉への理解を図る。	年1回

事業名	対象者	内 容	備 考
5 ボランティアセンター活動事業			前ページからの続き
⑧ ボランティアコーナーの設置	地域住民	ひまわり館内に設置し、ボランティア情報の発信等の支援を行う。	
⑨ ボランティアセンターだよりの発行	地域住民		年4回発行
6 心配ごと相談			
① 心配ごと相談所	地域住民	様々な心配ごととの相談に応じる。	毎週木曜日 (午前10時～正午)
② 無料法律相談	〃	年12回弁護士による無料法律相談を開催する。(4月17日、5月15日、6月19日、7月17日、8月21日、9月18日、10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、3月19日)	宮之城ひまわり館 予約制
7 福祉サービス利用支援事業			
	認知症高齢者 知的障害者 精神障害者等	生活支援員により、判断能力が不十分な方に、福祉サービス利用の代行や、公共料金などの支払い手続き、重要書類等の保管などの支援を行う。	1回1,200円 生活保護世帯は 無料
8 介護保険事業			
① 居宅介護支援事業	要介護 認定者等	介護支援専門員による居宅介護サービスの計画書を作成し、支援を行う。	
② 訪問介護事業	〃	訪問介護員を派遣し、身体及び家事等の生活援助を行う。	
③ 訪問入浴介護事業	〃	移動入浴車を利用し、自宅での入浴の介助を行う。	
④ 福祉用具貸与事業	〃	ベッド、電動車いす等の福祉用具のレンタルを行う。	
9 一般乗用旅客自動車運送事業			
	要介護高齢者 身体障害者等	予約制により、対象者の医療機関等への送迎を行う。(福祉輸送限定)	福祉タクシー 有料
10 収益事業			
① 簡易な住宅改修事業	地域住民	簡易な住宅改修(手すり取り付け等)を行う。	
② 紙おむつ等介護用品販売事業	〃	紙おむつ等の介護用品の販売を行う。	
11 その他			
① 共同募金事業への協力	地域住民	さつま町共同募金委員会としての募金活動、並びに配分金事業を行う。	募金運動期間 (10月～12月)
② 日本赤十字社事業への協力	〃	日赤鹿児島県支部さつま町分区としての社資募集や、災害救援等の赤十字事業を行う。	社資募集期間 (5月)
③ 苦情解決に関する第三者委員会の開催	サービス 利用者等	第三者委員を3名おき、福祉サービスについての利用者からの相談、苦情解決するための施策を講じる。	
④ 飲料水自動販売機設置	地域住民	町内の公共施設等に自動販売機を設置している。	
⑤ 車いす貸出事業	〃	旅行等、車いすが必要な方に、無料で車いすを貸し出す。	おおむね 1ヶ月以内
⑥ 広報誌の発行	〃	広報紙「さつま町ふくし」の発行を行う。(全戸配布)	年4回
⑦ 北薩地区社会福祉協議会	〃	災害時相互応援協定により、災害時の復旧活動の支援を、相互に行う。	

# 平成26年度 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 予算

(単位：千円)

勘定科目（大区分）		合 計	社会福祉事業	公益事業	収益事業
収 入	会費収入	4,920	4,920	0	0
	寄付金収入	3,850	3,850	0	0
	経常経費補助金収入	35,597	35,597	0	0
	助成金収入	0	0	0	0
	受託金収入	58,078	58,078	0	0
	貸付事業収入	1,500	1,500	0	0
	事業収入	8,430	2,580	2,400	3,450
	負担金収入	38,624	38,624	0	0
	介護保険事業収入	103,440	103,440	0	0
	障害福祉サービス等事業収入	8,395	8,395	0	0
	受取利息配当金収入	132	130	1	1
	その他の収入	171	171	0	0
	事業活動収入計	263,137	257,285	2,401	3,451
	施設整備等活動収入計	0	0	0	0
	積立資産取崩収入	810	810	0	0
	事業区分間繰入金収入	1,080	1,080	0	0
	サービス区分間繰入金収入	4,164	4,164	0	0
	その他の活動による収入	6,500	6,500	0	0
	その他の活動収入計	12,554	12,554	0	0
	前期末支払資金残高	30,200	22,500	3,500	4,200
収 入 合 計		305,891	292,339	5,901	7,651
支 出	人件費支出	181,019	180,719	300	0
	事業費支出	30,754	27,034	1,380	2,340
	事務費支出	41,885	41,133	221	531
	貸付事業等支出	1,500	1,500	0	0
	共同募金配分金事業費	2,992	2,992	0	0
	助成金支出	4,011	4,011	0	0
	事業活動支出計	262,161	257,389	1,901	2,871
	施設整備等活動支出計	0	0	0	0
	積立資産支出	1,150	1,150	0	0
	拠点区分間繰入金支出	1,080	0	500	580
	サービス区分間繰入金支出	4,164	4,164	0	0
	その他の活動による支出	6,636	6,636	0	0
	その他の活動支出計	13,030	11,950	500	580
	予備費支出	500	500	0	0
	当期末支払資金残高	30,200	22,500	3,500	4,200
支 出 合 計		305,891	292,339	5,901	7,651

**住民福祉総合研究所長の  
木原孝久氏に講演いただきました**

さつま町主催で毎年行われる民生委員等合同研修会の講師として、今回は支え合いマップの考案者である木原孝久先生に『ご近所パワーで助け合い起こし』というテーマでご講演いただきました。



時に笑いあり、時には鋭く突っ込む木原先生の軽妙なトークに、研修会に参加された方々はご近所福祉をより身近なものとして実感いただけたようでした。

研修会終了後のアンケートでは支え合いマップを作ってみたい、木原先生に毎年来てお話ししていただきたいなどの反響がとても沢山あり、これからのさつま町の地域福祉のま

ちづくりへ大きく前進できたように感じました。

これを熱源にこれからも住民主体の地域福祉活動を支え、いっそう盛り上げていきたいと思っています。

**平成二十五年度暮らし安心・地域支え合い推進事業の進捗状況について**

平成二十五年度は紫尾地区をモデル地区として合計三回のご近所福祉座談会を開催しました。

九月の第一回の座談会では、ご近所での支え合い活動の大切さ、支え合いマップについてのセミナーを行いました。地域住民の皆さんを初め、警察・消防関係者の方や役場の福祉課、介護保険課、健康増進課、安心・安全対策課などからご参加くださいました。

以降、ご近所福祉座談会へは、十一月に第二回となる支え合いマップづくり、平成二十六年二月上旬に、第三回の地域の課題とその対応策検討まで、沢山の方に継続してかわっていただき、ご近所福祉活動に対する皆さんの意識が変わってきた



ように思います。以前から行われていた地域の見守りも情報共有によって、より質の高いものとなることを期待できました。

平成二十五年度は紫尾地区の三公民会で支え合いマップづくりを行いました。平成二十六年度は、より沢山の地域で取り組んでいきたいと思っています。

誰もが安心して暮らせる地域づくりへの皆さんのご理解、ご協力並びに積極的なご参加をよろしくお願いいたします。



お問い合わせは：  
さつま町社協 柳田・池山  
(〇九九六) 五二・一一二三

平成二十六年三月四日(火)に「ふれあい・いきいきサロン研究集会inかごつま」が、かごしま県民交流センターで開催され、さつま町からサロン関係の方々二十二名の参加がありました。今回は、阿久根市とさつま町から事例紹介があり、さつま町からは「上中福良サロン」の代表 中村トヨ子さんの事例発表があり、男性参加の多いサロンと言う事で注目され、分科会でも話題になりました。

**高齢者ふれあい・いきいきサロン**

平成二十六年二月四日(火)に「高齢者ふれあい・いきいきサロン代表者連絡会」を開催しました。

「ふれあい・いきいきサロン」は自然に、寝たきり・認知症予防につながると言われていきます。ただ今、町内九十九サロン、さまざまな活動がなされています。今回は、七十七サロンの代表者の出席と来年度立ち上げを予定されている方の参加もあり、二十五年度のサロン事業の実績報告について、二十六年度のサロン事業計画等の説明の後、今回は、大薄上公民会サロン「みんなで語ろう会」代表の大薄けい子さんの事例発表がありました。地元の物産館からの、買い物支援の取り組みを話されました。参加者にとっても喜んで頂いているようです。



大薄けい子さん



中村トヨ子さんの発表



# 【児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の表彰】

児童・生徒ふれあい活動事業が始まって早や九カ月が過ぎました。

町内の小学生・中学生・高校生を対象に、自分の時間を利用したボランティア活動で、十ポイントを集めて社協オリジナルの認定証をもらい、ボランティア意識をもっと高めてもらおうというのが事業の目的です。

平成二十五年度は、八名の児童・生徒の皆さんが認定証を獲得いたしましたのでご紹介いたします。

## ▼ 盈進小

4年 小園 優心さん

4年 上野 翼くん

4年 時吉 梨々香さん

## ▼ 泊野小

4年 永井 菜桜さん

5年 帖佐 健志くん

5年 永井 健喜くん

6年 川平 成香さん

## ▼ 薩摩中央高校

1年 甫立 麻里奈さん

## 認定証



おめでとう

# 【鹿児島県グラウンドゴルフ協会からの寄贈】



鹿児島県グラウンドゴルフ協会から、エルダートライ（高齢者擬似体験セット）五セットの寄贈がありました。同協会では、ホールインワンを出した会員が百円を積み立て、この一年間で約四百五十万円が集まり、それを、社会貢献のために活用しようとして、県下の特別支援学校や、社会福祉協議会等の関係機関に寄付されています。今回の寄贈品は、町内の福祉教育等のために活用させていただきます。

ありがとうございました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国180万人  
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



## 特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間保険料 基本タイプ Aプラン...300円 Bプラン...450円  
天災タイプ Aプラン...460円 Bプラン...690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

## ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

## 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

## 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社



皆様の  
善意に  
感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方より頂きました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

(平成二十六年一月一日〜平成二十六年三月三十一日受付分)

香典返し寄付 百一十件  
百十六万八千円

寄付者名 (故人名) 《敬称略》

(町内は大字、町外は住所記)

谷山 敬子 (故) 谷山 ノイ 鶴田  
上大迫トヨ子 (故) 上大迫 肇 神子  
上川畑 修 (故) 上川畑フミ子 柏原  
稲留 謙三 (故) 稲留 ヒデ子 山崎  
比知屋順子 (故) 比知屋重法 求名  
田中 久雄 (故) 田中 ミナ 永野  
内 清徳 (故) 内 清 湯田  
岡村 光子 (故) 外園 光行 鶴田  
橋元 和実 (故) 橋元 露 神子  
小森 勝郎 (故) 小森 勝家 求名  
池之野秀雄 (故) 池之野サツ子 佐志  
満園 智則 (故) 満園 静枝 鶴田  
原 正博 (故) 原 ユリ 福岡県  
楠木園一美 (故) 楠木園靖男 紫尾  
高橋ヒデ子 (故) 高橋 隆人 永野  
野添ツルミ (故) 野添 順吉 宮之城屋地  
西 国広 (故) 西 達郎 虎居  
西 ツル (故) 西 幸喜 柏原  
末永 善朗 (故) 末永フサ子 梶木県  
森山 大 (故) 森山 エミ 山崎

片平 誠二 (故) 片平 ミフ 宮之城屋地  
小森 悟 (故) 小森 幸造 求名  
森山由紀美 (故) 森山 茂 永野  
中国 秀人 (故) 中国 フヂ 平川  
米盛 淳子 (故) 米盛 幸喜 中津川  
福島萬里子 (故) 福島 サキ 佐志  
松井アサ子 (故) 松井 茂喜 虎居  
伊尻ツユ子 (故) 伊尻 清彰 永野  
高嶺テルエ (故) 高嶺 守 神子  
園田 広子 (故) 園田 マツ 宮之城屋地  
本村 光幸 (故) 本村 邦光 船木  
山田 澄子 (故) 山田 勲 永野  
三腰 栄治 (故) 三腰 栄子 泊野  
下築 フク (故) 下築 敦義 永野  
愛甲 慶子 (故) 愛甲 岩夫 紫尾  
仁科 京子 (故) 仁科 繁 宮之城屋地  
濱川 俊二 (故) 濱川 千鶴 霧島市  
中間 砂雄 (故) 中間 トシ 滋賀県  
小緑セツ子 (故) 小緑 一徳 湯田  
軸屋真理子 (故) 軸屋 司 柏原  
内堀 茂子 (故) 内堀 光男 柏原  
中村ハナミ (故) 中村 虎義 求名  
大薄アケミ (故) 大薄 輝秋 平川  
谷村 福子 (故) 谷村 昌恵 山崎  
鶴森クニ子 (故) 鶴森 兼次 柏原  
前野シヅ子 (故) 前野 武雄 平川  
小山 重幸 (故) 小山 チギ 柏原  
杉田 和豊 (故) 杉田 さつ江 宮之城屋地  
片野 誠一 (故) 片野 勉 柏原  
折小野吉美 (故) 折小野 幸子 二渡  
宮之脇尚美 (故) 迫 静子 佐志  
町田千恵子 (故) 宇治野ヨシエ 虎居  
松元 美好 (故) 松元 好一郎 求名  
坂元 満秋 (故) 坂元 明子 船木  
平八重弘樹 (故) 平八重弘行 宮之城屋地  
下境田 稔 (故) 下境田ミサ 求名  
吉村 茂樹 (故) 吉村 富子 宮之城屋地

木下 昌臣 (故) 木下 シツ 求名  
高嶺 道夫 (故) 高嶺 ユミ子 求名  
梶 正治 (故) 梶 千代子 鹿兒島市  
白川 智康 (故) 白川 軍治 宮之城屋地  
東條三千蔵 (故) 東條 ツギエ 柊野  
白坂 タミ (故) 白坂 武光 紫尾  
南 久美子 (故) 南 公博 久富木  
小山 幸三 (故) 小山 重幸 柏原  
赤崎 敬一郎 (故) 赤崎 ヒデ子 求名  
櫛山 洋子 (故) 内之倉ツル子 佐志  
領家 トル (故) 領家 秀雄 求名  
別府 廣美 (故) 別府 サト 兵庫県  
小山 チヅ (故) 小山 吟次郎 鶴田  
水流 一廣 (故) 水流 キミエ 柏原  
松崎 昌子 (故) 松崎 昇 虎居  
中園伸太郎 (故) 中園 ちえ子 紫尾  
大谷 弘子 (故) 関 トシ子 神奈川県  
久保 光郎 (故) 久保 成夫 久富木  
外川内芳治 (故) 外川内タマ 宮之城屋地  
原之蘭資人 (故) 原之蘭ノブ 佐志  
水流 住吉 (故) 水流 イクエ 神子  
祝迫 哲子 (故) 祝迫 直 二渡  
中舟木 勇 (故) 中舟木 政子 船木  
下屋敷一人 (故) 下屋敷かつ子 柏原  
永徳 キワ (故) 永徳 武士 二渡  
服部フヂエ (故) 本田 モリ 福岡県  
穂満 チミ (故) 穂満 廣海 柏原  
西 昭雄 (故) 西 玉江 柏原  
永江 耕作 (故) 永江 富一 中津川  
三角とめこ (故) 小田原ツヨ子 薩川内市  
本村 忠子 (故) 本村 寛 二渡  
竹下 稔 (故) 竹下 リキ 久富木  
岩下 吉久 (故) 岩下 チリ 求名  
和泉 邦岳 (故) 和泉 久代 鹿兒島市  
本田 洋昭 (故) 本田 トキエ 船木  
島子 佳久 (故) 島子 憲子 求名  
中川 憲一 (故) 中川 昭義 中津川

宮之原トミエ (故) 野村クミ子 紫尾  
関 憲一郎 (故) 関 和子 宮之城屋地  
折小野ナス (故) 折小野清則 二渡  
米良 スギ (故) 米良 治巳 船木  
宮路マスエ (故) 宮路 滋 宮之城屋地  
宮里雄一郎 (故) 宮里フチ子 永野  
匿名希望二件

篤志寄付

二万一千四百八十五円 六件

寄付者名《敬称略》

・紫尾区大衆浴場 上之原 純夫  
・更生保護女性会  
・シルバー園芸教室 匿名希望 一件

【備品をご利用ください】

(車椅子・レクリエーション用具・高齢者擬似体験セット 等)

さつま町社会福祉協議会では、さつま町内在住の方を対象に、車椅子や、レクリエーション用具の貸し出しをしております。

レクリエーション用具は、無料で貸し出してありますが、車椅子は一ヶ月間だけ無料です。お気軽に社会福祉協議会事務局にお問い合わせください。

また、高齢者擬似体験セットもあり、福祉教育等にもご活用ください。



特別養護  
老人ホーム

さつま園

〒895-2201 さつま町求名13341-1  
TEL 0996-57-0695 FAX 0996-57-0696  
E-mail:satumaen1@po5.synapse.ne.jp

さつま園デイサービスセンター  
TEL 0996-57-1991 FAX 0996-57-1994  
さつま園ヘルパーステーション  
TEL 0996-57-1992 FAX 0996-57-1994  
居宅介護支援事業所さつま園  
TEL 0996-57-0087 FAX 0996-57-1994  
さつま園在宅介護支援センター  
TEL 0996-57-1993 FAX 0996-57-1994  
(夜間は、特別養護老人ホームさつま園)  
TEL 0996-57-0695

(運営主体) 社会福祉法人 同仁会  
(施設種別) 特別養護老人ホーム  
(開園) 昭和58年4月1日

(お申し込み要領) 各サービスのご利用、  
料金等のお問い合わせやお申込みは、さ  
つま園、デイサービスセンター、居宅介  
護支援事業所、在宅介護支援センター、  
各地区民生委員にご相談ください。



施設外観

【町内の施設紹介】  
【さつま園】

同法人は、特別養護老人ホーム  
(定員七十人)・ショートステイ(定  
員十人)・デイサービス(定員四十  
人)・訪問介護・居宅介護支援・在  
宅介護支援センターの事業を展開し  
ています。

平成二十五年四月には、「CaLm  
癒し館」が新設され、個室の二十床  
は、特色のある明るいインテリアと  
なっています。月に一回は、利用者  
のご家族をお招きして、お茶会も催  
されています。

「介護相談・施設見学・ボラン  
ティアの受け入れ」など、お気軽に  
ご相談くださいとのことでした。

今後も、町内の施設をご紹介して  
いきます。



デイサービスセンター



CaLm・癒し館交流スペース



新設された CaLm・癒し館

編集後記

皆様、桜の花も終わりました  
が、花見を満喫されましたで  
しょうか。寒い冬が終わり、別  
れと出会いの季節となりました。  
季節の変わり目に、皆様、体調  
を崩されてはいませんか。

今回、広報誌第二十九号を発  
行いたしました。発行にご協力  
くださいました方々に感謝申し  
上げます。

さて、平成二十六年度がス  
タートいたしました。地域に  
開かれた社会福祉協議会として、  
今後も、地域福祉の増進を図り  
たいと思います。

今後とも、町民の皆様のご協  
力をよろしくお願いいたします。

広報委員

山下 光男  
領家 信行  
柳田 道輝  
松下 正人  
桑波田 敏光  
甫立 ミミ子